

～地域包括ケアと地域共生社会の実現に向けた学びを共有するゼミ～  
今回は、新型コロナで延期になっていましたR1年度に1年間取り組んだ  
広報支援モデルのまとめを取り上げます。



## 相手を思いやる気持ちは共通 by スクエアガーデン包括（羽根学区、城南学区） 広報は地域とのコミュニケーションツール&職場内の共通認識を持つ機会

- 【目的】地域で高齢者を見守る環境を作り、地域で支え合える優しい学区づくり。  
【地域特性】平成28年にスクエア包括を設置。岡崎駅周辺は区画整理と開発が進められており、マンション、アパートも多い。大型ショッピングセンターも近く、バスの利便性も高い。  
【課題】若い世代の包括の周知率が低い、高齢者でも包括の周知率は約50%と推測。集合住宅もあり外国人も多い。  
【1年間の学び】
- ・広報企画書があることで広報を包括業務にどう役立てていくか明確になった。
  - ・「伝えたい人」を決めて、「伝えるべき情報」を精選することが大事。高齢者なのか、高齢者の家族なのか等。
  - ・読み手の心に寄り添い、読み手にとって「メリットがある」と感じてもらえる記事を意識することが大切。
  - ・広報会議はスタッフ間の意識を統一する場となり、目的が共有されているため、建設的な意見交換ができる。忘れないように会議録を作成、回覧することも大切。
  - ・伝えたいことは多くても色々詰め込まず、ワンメッセージを確実に伝えていく。欲張らず、腹八分目がちょうどいい。
  - ・苦手だった広報作成が企画整理シートで不安が軽減した。誰に何を伝えたいかを決めるので、目的がぶれなくなる。

### 今回のキモ！

少しの手間で、担当者の思考の見える化ができる！！  
目的がぶれないために何度も見返すことも大切

企画整理シート ※ ①介護保険のお手伝い ②高齢者の見守り・地域との ③健康長寿のお手伝い  
④集いの場づくりのお手伝い ⑤高齢者の権利を守る ⑥地域づくりのお手伝い

場所	ネタ	仕事※	目的	前提条件	概要	内容(何を伝えたいのか？心に響く仕掛け)	まとめ
裏1/4	ジョナップ市	③	A 報告 B 啓発 C 告知 D 紹介	ジョナップ市とは何か(目的、主な参加者)。→城南学区女性の会が主催。城南小学校の授業参観に合わせ小学校の保護者地域の方を対象に開催。バザーや食べ物の販売などが楽しめる内容。	スクエア包括は、ジョナップ市に参加した。健康チェックを通じて、スクエア包括の取り組みの広報、介護予防の重要性について啓発した。	包括は健康チェックとして握力測定、アンケートを実施した。皆さん協力的だった。若いうちから「介護予防」が大切	日頃から健康に関心を持ち、生活習慣病を予防することが年齢を重ねた時の介護予防につながる。

### 広報のプロからのアドバイス

- ・**ラブレターとしての広報** 包括のことを理解してもらい、協力し合え、応援してもらえるように、包括の存在意義（仕事や活動内容）を示していくことが大切。
- ・広報は「ステークホルダー（包括と影響し合う人や組織）」が意中の人（ラブレターの相手）。
- ・大人数で物事を進めるには、「**目的設定**」や「**意思統一**」が必要。事前の認識共有が必須。
- ・**企画は簡易で大丈夫**。①**目的**②**趣旨**③**期待する効果**④**留意ポイント**。趣旨にはらしさを配ったことで起こせる変化を書く。  
気楽にメモ程度から。絶対書いてほしいのは、目的と趣旨。目的は一つに。どうしても二つあるときは優先順位を。決めることで「判断基準」ができ、担当者自身が判断できるようになる。
- ・「絶対。伝える」と強く思うことが大切。オススメは**特定の人を思い浮かべて、その人に語りかけること**。
- ・作成することが目的にならないように注意。広報を伝える接点と理解して、仕事を円滑にするための目的を共有し、伝えたい人に伝えることを意識することが大切。

### 編集後記：

新型コロナの影響で4月に予定していた包括ゼミが6月になり、久しぶりの顔合わせでした。時間、人数等も配慮してのゼミです。これまで当たり前だったことが当たり前ではないこと、これまでの生活に感謝しながら、新しい始まりに試行錯誤しながら、少しずつ慣れていっているところです。

今回の報告では、広報も包括の仕事も『相手を思いやること』が共通であるという言葉が印象的でした。一見、手間ややるが増える印象を持つかもしれませんが、苦手な広報もその少しの手間をかけることで、不安が軽減し、後で楽になるという経験者からのアドバイス、プロからの気楽にメモ程度からのアドバイスを受け、みんなで気楽に一步を踏み出せればと思います。